

政策評価シート（平成27年度実績評価）

◎ 政策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	1-6	政策名	雇用環境の充実	政策の 目指す姿	希望する仕事に就き、安心して働いています	政策 主管課	商工労政課	政策主管 課長名	古川 昌
	政策の方針		市民が希望する仕事に就き、安心して働くためには、雇用環境の充実を図る必要があります。そのために、企業が必要とする技術や能力を身につけるための人材育成に取り組むとともに、働きやすい就労環境づくりへの支援を行うなど勤労者福祉の向上を図ります。							

2 成果指標の達成状況

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	区分	H25 (基準年度)	H26	H27	H28	H35
求職者の就職率	就職希望者がどの程度就職することができたかを測る指標。	出典:公共職業安定所【雇用のうごき】 算出:(就職件数/新規求職申込件数) ※分母…月ごとの新規求職者申込件数の累計 分子…月ごとの就職者の累計	%	目標値		50	50	50	50
				実績値	50.5	51.1	50.8	-	
達成度	[達成状況に関する背景・要因]								
A	実績値は目標値を超え達成することができた。ジョブカフェはなまきのキャリアカウンセラー増員や、外部委託による企業支援と一体となった就業支援により成果が上がった。前年対比減少の要因としては、大きな影響はないものの、就職者数が前年より若干減少した事が挙げられる。								

3 政策に対する各施策の達成度

No.	施策名	成果指標名	H25	H26			H27			H28		前年実績との比較	達成度
			現状値	目標値	実績値	達成度	目標値	実績値	達成度	目標値	見込み		
1	職業人材の育成	ジョブカフェはなまき新規登録者の就職決定率(%)	20.0	20.0	29.0	a	20.0	28.3	a	20.0		→	C
		従業員を対象としたスキルアップセミナー等の受講者数(人)	396	430	324	c	460	424	b	490		↘	
2	勤労者福祉の向上	職場の福利厚生やワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)に満足している勤労者の割合(%)	41.7	44.0	43.2	b	47.0	45.1	b	50.0		↘	B

4 政策の総合的な評価

評価区分	政策の課題と要因
A-④	非正規雇用の増加や求職者の求める職種との乖離いわゆる雇用のミスマッチが生じ、若年者の早期離職や、技能職人材の減少による技能の継承が懸念されており、職場への定着と人材育成が求められている。
やや遅れている	また、職場内におけるワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)がまだまだ浸透されていない状況から、勤労者福祉の向上を図るため、啓発活動を行うなどの取り組みが必要である。

成果指標達成度	A	☆			
	B				
	C				
	D				
		④	③	②	①
政策に対する施策の達成度					



## 5 政策を構成する施策一覧

1	施策名	職業人材の育成	施策の成果指標の 達成状況	H26	C	H27	B
	<p>【課題】</p> <p>求人数の増加に伴い、一部業種に人手不足の状況がある。 若年者の職場定着率に改善が見られない。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>県や関係機関と連携し、学生を含めた若年者の就労意識の向上を図る事業を強化する。</p>						
2	施策名	勤労者福祉の向上	施策の成果指標の 達成状況	H26	B	H27	B
	<p>【課題】</p> <p>市広報や産業支援施策制度説明会で各種事業の周知を図っているが、例えば中小企業退職金共済の補助等は対象者のうち半数程度しか申請に至っていない。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>勤労者福祉に関する各制度の周知を図る。 ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業を増やすために、企業の経営者等の意識改革や職場への普及・啓発を行う。</p>						